

2024年11月27日

令和6年度 VOL.39

～青い絨毯をつくる第一歩～ ネモフィラの種まきが始まりました

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、11月25日（月）から“ネモフィラの種まき”が始まりました。「みはらしの丘」の約4.2haに約530万本となるネモフィラを咲かせるため、延べ80人程のスタッフが約2週間かけて種をまきます。丘全体を青で染め上げるネモフィラと青空が溶け合う絶景を創り出すべく、24年目のネモフィラの丘に向けた準備が進んでいます。



ネモフィラ種まきの様子 撮影/2024年11月27日

◆種をまく前の準備作業

ネモフィラの準備は、10月に「みはらしの丘」を赤く染め上げたコキアを抜き取る場所から始まります。コキアを抜き取った後丘を耕し、化成肥料を加えて土壌を整える工程へと進みます。その後、種まきの準備として、専用の道具を使いながら丘全体に20cm間隔で目印となる線を丁寧に引いていきます。この線は、ネモフィラが咲いた際の美しい見栄えを考慮し、引く方向にも工夫をしています。

【ネモフィラ】 ■見頃:4月中旬～5月上旬 ■品種数:1品種(インシグニスブルー)
■本数:約530万本 ■場所:みはらしの丘 ■植栽面積:約4.2ha



みはらしの丘に線を引く様子
(撮影日:2024年11月27日)

◆手作業で創り上げる「みはらしの丘」

目印となる線が引き終わると、いよいよ種まきが始まります。ネモフィラの種は1粒1mmほどと非常に小さく、みはらしの丘4.2haの面積に米俵1個分ほどの量である約130L(%)分の種を使用します。種まきはすべて手作業で行われ、容器から一定量の種を取り、丘全体に均一にまいていきます。その後は土で覆い、日当たりや風向きなどを考慮しながらエリアごとに順番を決めて仕上げしていきます。



ネモフィラの種
(撮影日:2024年11月27日)

◆冬ならではの景色

ネモフィラは種まき後、0日から15日ほどで芽を出し始めます。発芽を確認したのち、冬季の低温から株を守るための「霜除けシート」をみはらしの丘に設置します。シートに覆われた丘は、白銀のグレンデのように見え、当公園の冬景色のひとつとしてご覧いただけます。

Information

11月25日からは干支の巨大地上絵の制作が始まっています。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・マウリダ



TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>